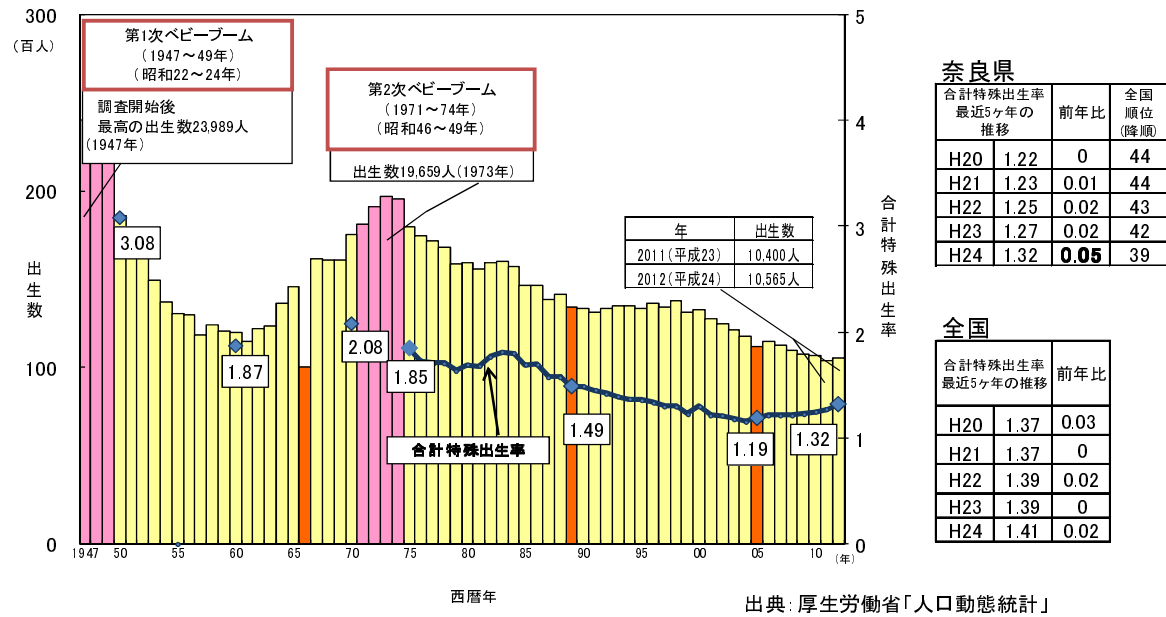


奈良県の子どもを取り巻く状況

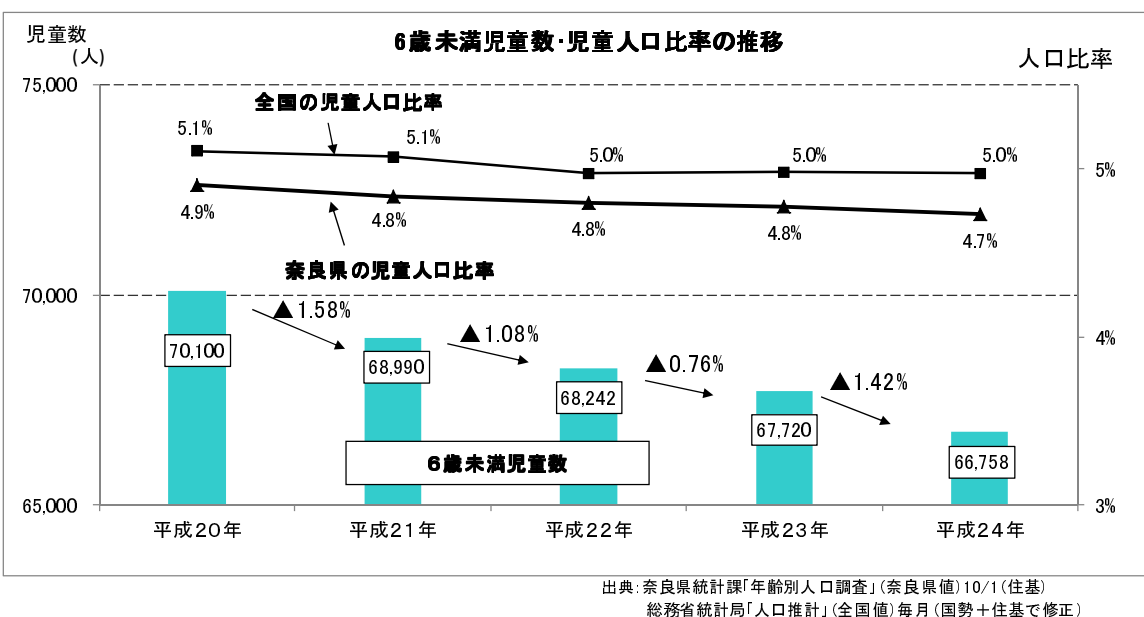
1 奈良県の出生数及び合計特殊出生率の年次推移

○出生数は第2次ベビーブーム以降増加している時期もあるが、減少傾向にある。
 ○最近5年の合計特殊出生率はわずかではあるが、上昇している。
 ○奈良県の平成24年の合計特殊出生率は1.32で平成23年(1.27)より0.05上昇しており、上昇値は全国(0.02)よりも高い。



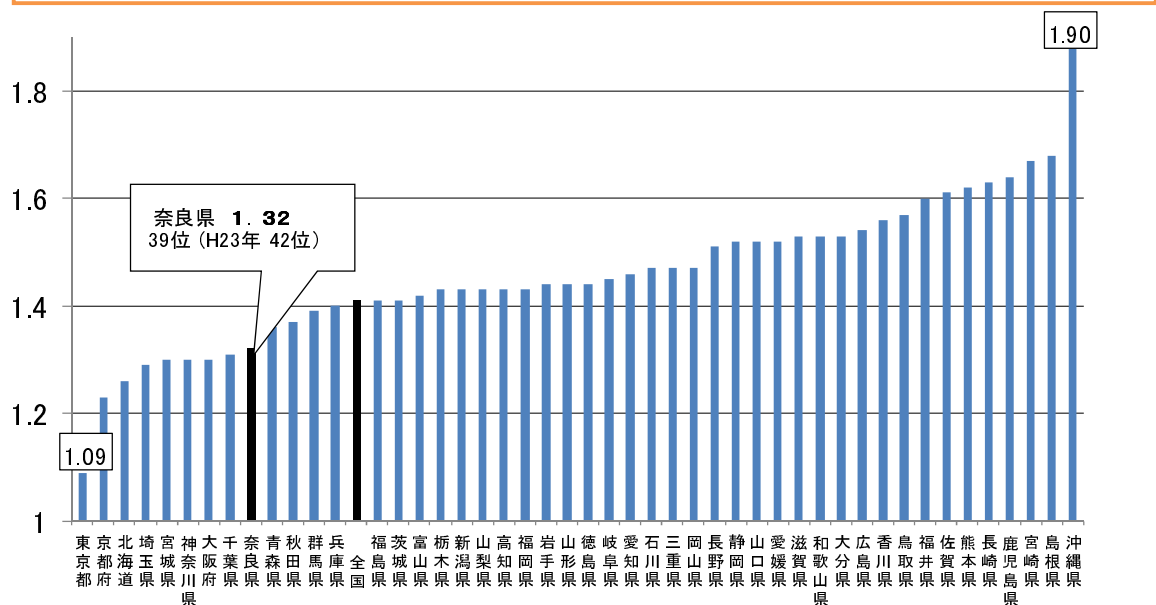
3 奈良県の6歳未満児童数及び児童人口比率の推移と全国との比較

○奈良県の推計人口に占める6歳未満の児童数は、年々減少している。
 ○児童人口比率は全国と同様に横ばい状態ながら、わずかに減少しており、全国の比率よりも下回っている。



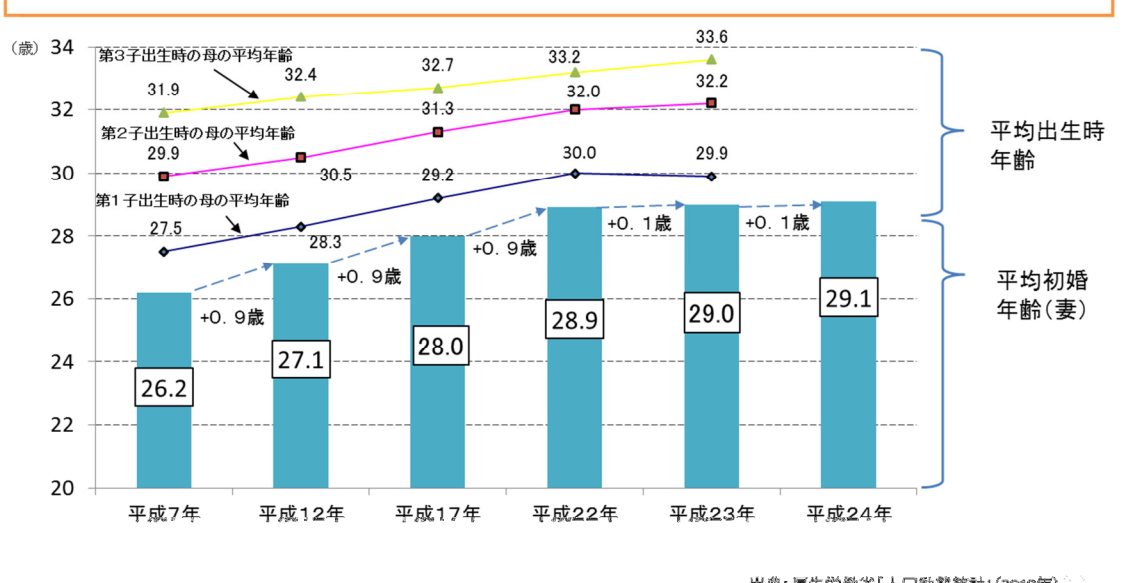
2 平成24年都道府県別合計特殊出生率

○奈良県の合計特殊出生率は1.32で、都道府県順位は39位(降順)である。平成23年の42位より上昇したが、全国(1.41)との差は0.09あり、依然として全国と比較して低い。



4 奈良県の平均初婚年齢(妻)と母親の平均出生時年齢の推移

○奈良県の女性の平均初婚年齢は、平成7年から平成22年までの間、5年ごとに0.9歳ずつ上昇しており、晩婚化が進んでいる。
 ○平均出生時年齢の推移を見ると、晩産化が進んでおり、特に、第1子出生時の母親の平均年齢の上昇が大きい。

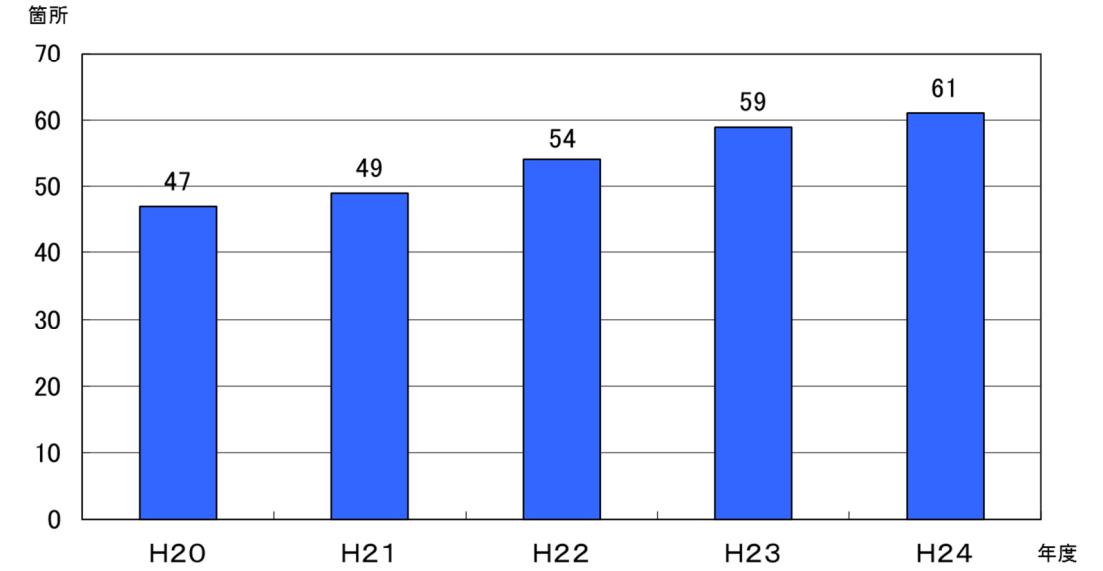


5 国勢調査等の結果から見た本県の特徴

指標	全国平均値	奈良県	順位	特色	出典
核家族世帯率	56.4%	64.1%	1位	最も高い	国勢調査(H22)
専業主婦率	39.5%	47.9%	1位	最も高い	国勢調査(H22)
女性の就業率	47.1%	40.9%	47位	最も低い	国勢調査(H22)
女性の県外就業率	5.8%	20.4%	2位	高い	国勢調査(H22)
男性の県外就業率	11.1%	36.8%	1位	最も高い	国勢調査(H22)
男性の仕事からの帰宅時刻	19時37分	19時45分	8位	遅い	社会生活基本調査(H23)
女性の家事関連時間	3時間45分	3時間59分	5位	長い	社会生活基本調査(H23)
男性の家事関連時間	43分	44分	20位	平均的	社会生活基本調査(H23)

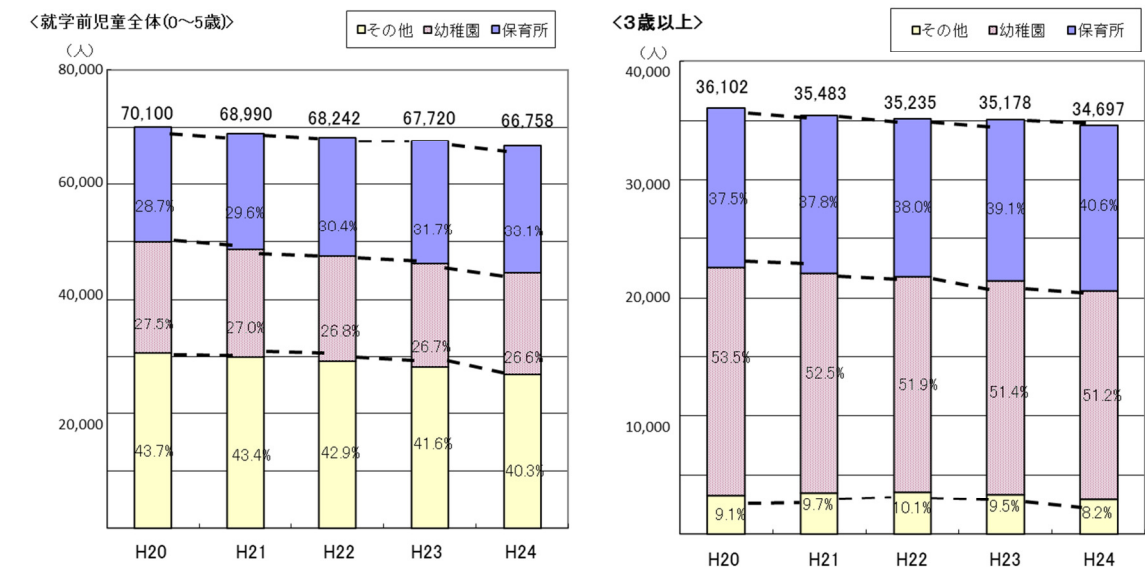
6 地域子育て支援拠点事業実施箇所数の推移

○地域子育て支援拠点事業は、市町村が主に子育ての不安感・負担感の軽減のために、子育て中の親子の交流や相談・情報提供等を実施するもの。
○事業実施箇所数は、平成20年度からの4年間で、47箇所から61箇所に増加(29.8%増)



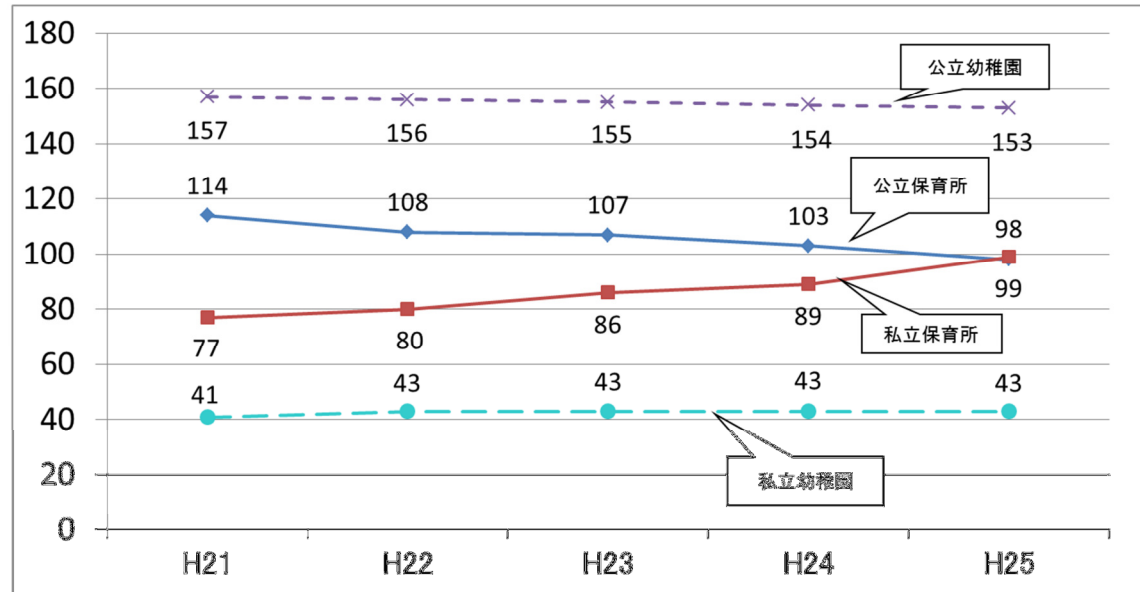
7 奈良県の就学前児童の状況

○少子化に伴い児童数は減少。
○就学前児童の保育所利用率は年々増加。
○3歳以上では幼稚園利用が過半数を占める。



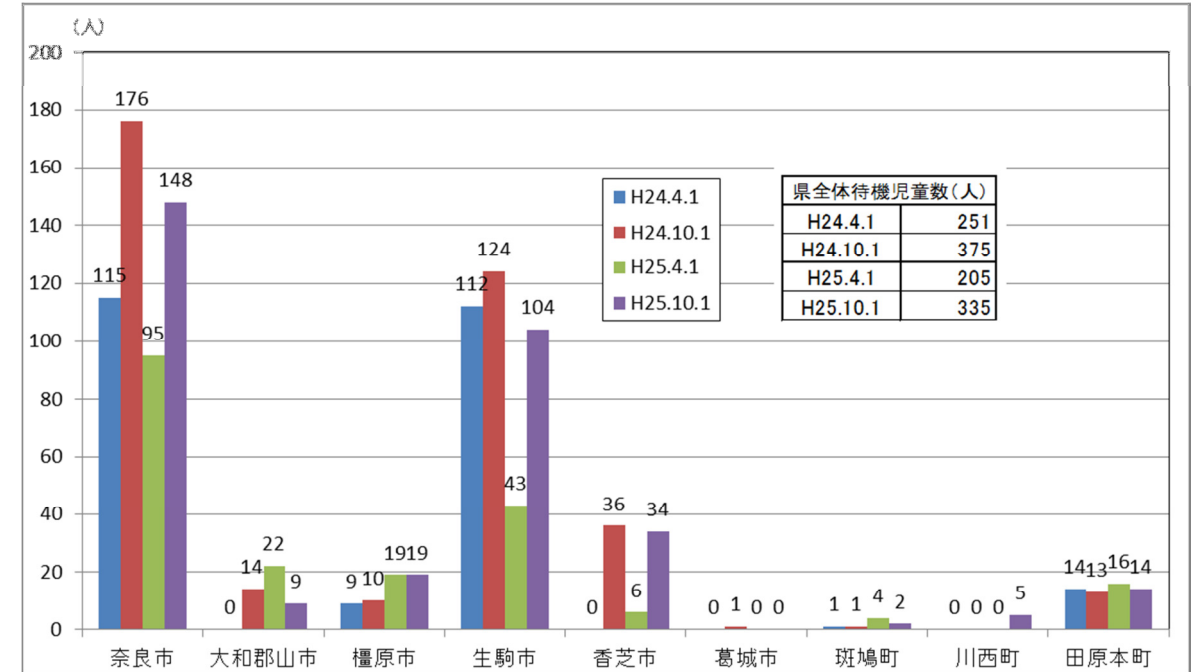
8 保育所と幼稚園の施設数の推移(公・私立別)

○保育所は私立保育所が増加する一方、公立保育所は減少傾向。
○幼稚園は公私ともにほぼ横ばいで推移。



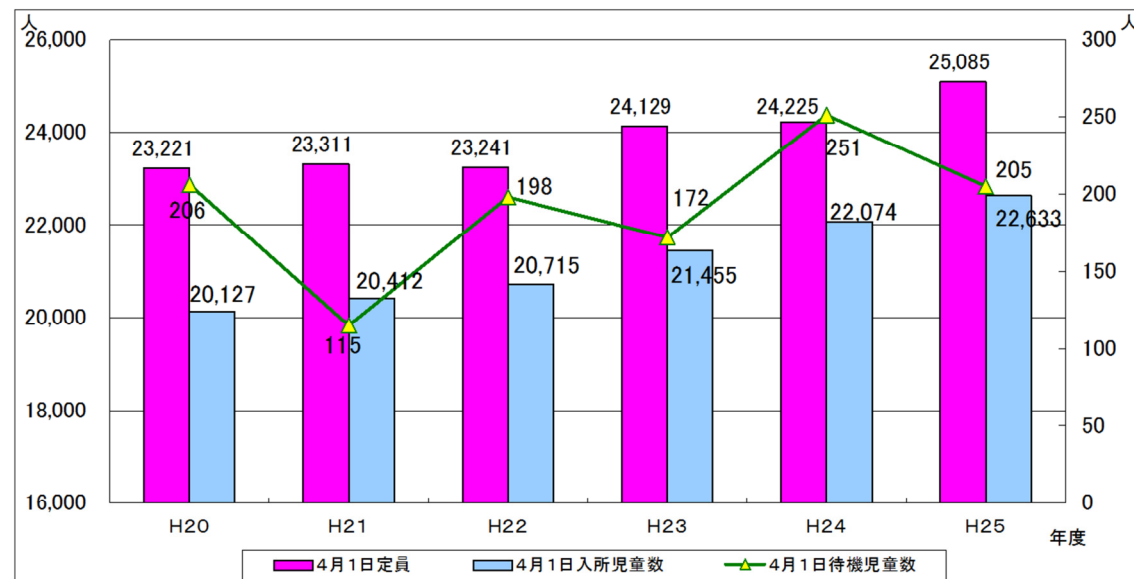
10 市町村別の保育所待機児童数

○平成25年4月1日の奈良県の待機児童数は205人。前年同月の251人より46人減少。
○保育所は、年度途中からの利用希望も多く、平成25年10月1日の待機児童数は335人。



9 保育所定員・待機児童数等の推移

○平成20年度からの5年間で、保育所定員は8.0%増加。一方、入所児童数は12.5%増加。
○4月1日の待機児童数は、200人前後で推移。



11 放課後児童クラブ数と登録児童数の推移

○放課後児童クラブ数は254か所(前年同月から9か所増加)
○また、平成25年5月1日の放課後児童クラブの登録児童数は10,710人(前年同月から686人増加)

